

No.3165

第3482回例会
平成28年5月18日

DISTRICT 2500

OBIIIRO ROTARY CLUB

方針 奉仕を楽しみ、実践しよう

会長 讚岐 武史

2015-16年度国際ロータリーのテーマ 世界へのプレゼントになろう

4月20日例会 会員総数93名(内免除会員4名)

出席報告

出席者数 56名

欠席者19名
(出免1名)

0

メークアップ 18名

93(名)

■会長報告



讃岐 武史 会長

皆さんこんにちは。今月の『ロータリーの友』は既にお読みになったでしょうか？佐藤真康エレクトは地区のロータリーの友、代表委員をされていたのでご存知だと思いますが、東京のロータリーの友委員会には東京築地RCの会員である二神さんと言う大変厳格な編集長がおりまして、5月号で二神編集長がロータリーの女性会員について投稿されております。それによれば女性会員は『あった方が良い』でなく『なくてはならないもの』とし、女性を排除しているクラブはロータリー全体にダメージを与えていると厳しく記述しています。全世界では会員全体の20%が女性会員で、ガバナーの約10%が女性だそうですが、日本では5%、今年度、来年度の女性ガバナーはゼロとの事です。今月のガバナー月信で見ますと、当クラブは93名の会員中6名が女性ですので、約6.5%となりますが、これだけで見ると日本のロータリーの平均値よりは上にありますが、今後もっと女性会長を輩出し、2500地区初の女性ガバナーを送り出して二神編集長を喜ばせねば良いと個人的に思います。

さて明日から当クラブの姉妹クラブである京都東RCの60周年に小沢幹事、合田直前会長、奥原次年度ガバナー補佐他総勢9名の会員で参加して来ます。来週その様子を報告させて頂きます。

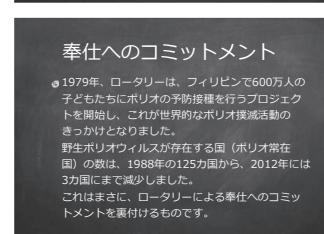
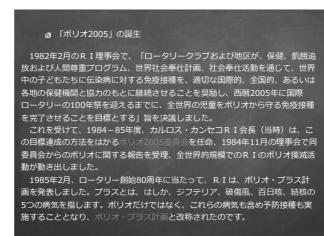
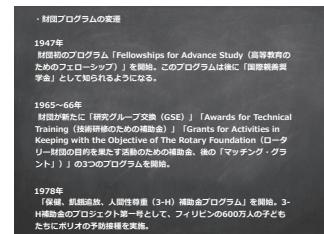
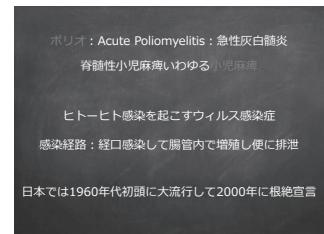
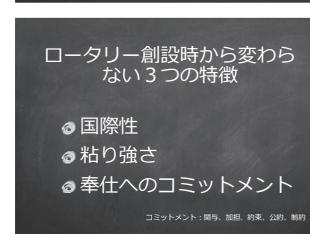
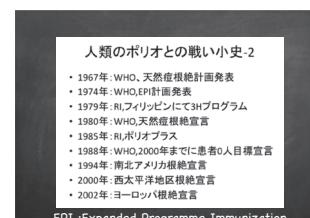
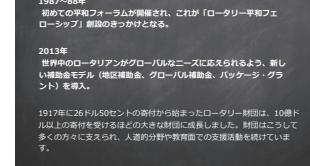
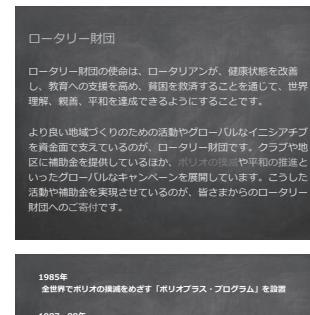
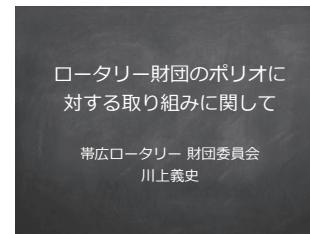
今日の例会プログラムは今年度当クラブのロータリー財団委員長である川上義史会員より、ポリオのお話を頂きます。どうぞ宜しくお願ひします。

■プログラム

(ロータリー財団委員会)

「ロータリー財団のポリオに対する取り組みについて」

川上 義史 ロータリー財団委員長



4月20日例会 会員総数93名(内免除会員4名)

出席報告

出席者数 56名

欠席者19名
(出免1名)

0

メークアップ 18名

93(名)

ロータリー財団のポリオに対する取り組みについて

帯広ロータリー 財団委員会

川上義史

ロータリー財団

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、報酬、平和を達成できるようにすることです。

よき地域づくりのための活動やグローバルなニシアチブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ボランティアや手作業といったグローバルなチャレンジを展開しています。こうした活動や補助金を実現させているのが、皆さんからのロータリー財団へのご寄付です。

1985年2月のR.I.理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、衛生および人道救援プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通して、世界中の子どもたちが伝染病に対する免疫接種、適切な衛生的、企画的、あるいは各地域の保健機関と協力の上に継続されることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了せることを目指す」と旨を決議しました。

これを受けて、1984-85年には、力石ロバート・カゼンズR.I.会長（当時）は、この目標を世界の方々に広めることを任せ、1984年11月理事会で同委員会を立ち上げ、世界に広く免疫接種を実現する財團を設立、全世界の児童の100%の免疫接種活動が動き出したのです。

1985年2月、ロータリー創設80周年にあたりて、R.I.は、ポリオ・プラス計画を発表しました。プラスとは、はしが、シテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指します。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種を実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称されたのです。

EPI : Expanded Programme Immunization

・財団プログラムの実績

1947年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」としてこれらのような。

1965～66年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」として、「マッチング・グランント」）の3つのプログラムを開設。

1973年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年2月のR.I.理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、衛生および人道救援プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通して、世界中の子どもたちが伝染病に対する免疫接種、適切な衛生的、企画的、あるいは各地域の保健機関と協力の上に継続されることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了せることを目指す」と旨を決議しました。

これを受けて、1984-85年には、力石ロバート・カゼンズR.I.会長（当時）は、この目標を世界の方々に広めることを任せ、1984年11月理事会で同委員会を立ち上げ、世界に広く免疫接種を実現する財團を設立、全世界の児童の100%の免疫接種活動が動き出したのです。

1985年2月、ロータリー創設80周年にあたりて、R.I.は、ポリオ・プラス計画を発表しました。プラスとは、はしが、シテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指します。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種を実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称されたのです。

・財団プログラムの実績

1947年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」としてこれらのような。

1965～66年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」として、「マッチング・グランント」）の3つのプログラムを開設。

1973年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年2月のR.I.理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、衛生および人道救援プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通して、世界中の子どもたちが伝染病に対する免疫接種、適切な衛生的、企画的、あるいは各地域の保健機関と協力の上に継続されることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了せることを目指す」と旨を決議しました。

これを受けて、1984-85年には、力石ロバート・カゼンズR.I.会長（当時）は、この目標を世界の方々に広めることを任せ、1984年11月理事会で同委員会を立ち上げ、世界に広く免疫接種を実現する財團を設立、全世界の児童の100%の免疫接種活動が動き出したのです。

1985年2月、ロータリー創設80周年にあたりて、R.I.は、ポリオ・プラス計画を発表しました。プラスとは、はしが、シテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指します。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種を実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称されたのです。

・財団プログラムの実績

1947年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」としてこれらのような。

1965～66年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」として、「マッチング・グランント」）の3つのプログラムを開設。

1973年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年2月のR.I.理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、衛生および人道救援プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通して、世界中の子どもたちが伝染病に対する免疫接種、適切な衛生的、企画的、あるいは各地域の保健機関と協力の上に継続されることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了せることを目指す」と旨を決議しました。

これを受けて、1984-85年には、力石ロバート・カゼンズR.I.会長（当時）は、この目標を世界の方々に広めることを任せ、1984年11月理事会で同委員会を立ち上げ、世界に広く免疫接種を実現する財團を設立、全世界の児童の100%の免疫接種活動が動き出したのです。

1985年2月、ロータリー創設80周年にあたりて、R.I.は、ポリオ・プラス計画を発表しました。プラスとは、はしが、シテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指します。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種を実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称されたのです。

・財団プログラムの実績

1947年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」としてこれらのような。

1965～66年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術修得のための奨励金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的達成する活動のための奨励金）」として、「マッチング・グランント」）の3つのプログラムを開設。

1973年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年 「医療、保健技術、人道性医療（3-H）補助金プロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年2月のR.I.理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、衛生および人道救援プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通して、世界中の子どもたちが伝染病に対する免疫接種、適切な衛生的、企画的、あるいは各地域の保健機関と協力の上に継続されることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了せることを目指す」と旨を決議しました。

これを受けて、1984-85年には、力石ロバート・カゼンズR.I.会長（当時）は、この目標を世界の方々に広めることを任せ、1984年11月理事会で同委員会を立ち上げ、世界に広く免疫接種を実現する財團を設立、全世界の児童の100%の免疫接種活動が動き出したのです。

1985年2月、ロータリー創設80周年にあたりて、R.I.は、ポリオ・プラス計画を発表しました。プラスとは、はしが、シテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指します。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種を実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称されたのです。

